

事業名		歴史的文化遺産の保存と活用					評価実施者		所 属 社会教育課 職・氏名 課長 河野敏昭		
事業の概要	開始年度						根拠法令等		文化財保護法		
	実施方法	☒ 直接 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔 〕					特定財源				
	目 的	歴史的構造物及び史跡標柱の整備、保存及び活用 文化財マップの作成と活用を通して歴史的文化遺産の周知を図る 地域の歴史や自然など魅力の再発見に努める									
事業内容	文化財保護審議会の開催と新たな文化財の指定への取り組み 文化財マップを活かした文化遺産の広報 「フットパス」事業・岩橋ふるさと北辰桜並木事業										
事業コスト	区 分	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	特 記 事 項				
	事業費(A)						※単位：千円				
	うち一般財源										
	人件費(B)										
総コスト(A)+(B)	0	0	0	0	0						
実績と成果	区 分	単位	H16	H17	H18	H19	H20	左記以外の19年度の実績・成果			
	事業の実績 (アウトプット)	1						華月館、屯田兵屋が19年度より指定管理と なって 清掃等の管理や来客等の対応が従前よりいき とどくようになった。年次計画により整備・保存 を実施した。			
		2									
		3									
	事業の成果 (アウトカム)	1									
		2									
		3									

評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察										
1 適応性	7	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ②事業を市が行う必要性があるか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 先人達の残した文化遺産を保存活用することは、街の歴史を大切にすることを育むことへ繋がる。 歴史的文化遺産の保存は行政の責任であり、住民との協働によって活用が広がる。										
	2 有効性	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ④施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 新たな文化財の指定は、市の歴史を埋もれさせないために効果的であり、目的の実現に有効である。 文化財マップの活用により、文化財を広く知ってもらうための手法としては効果的であり、目的の実現に有効である。									
		3 目標達成度	6	⑤目標の水準は適切か。 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑥計画通りに目標を達成できたか。 ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 文化財の保存活用の水準並びに計画は適切である。 文化財の市民への周知の充実が必要である。								
4 経済性効率性	8		⑦コストは縮減しているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑧事務は効率的に行われているか。 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 行政コストは年次的に抑えているが、目標を達成するためには今後一時的なコスト増大も見込まれる。 行政事務は効果的に行われている。									
	総合評価	合計 ↓ 100点 換算	29 /32 91 /100	ランク (A~E) A	上記評価を踏まえた事業の課題 文化財への市民の認知度をより高める工夫と働きかけが課題となっている。文化財の 老朽化など、補修が必要となるため今後の整備計画が課題である。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☒ 検証 ☒ 現状維持							

◎外部評価

評価項目	点数	判 定	点検・評価に関するコメント
1 適応性	7	① ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ② ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	補修を怠ると、いずれ大規模修繕が必要となる。行政が、細々でもやっていくしかない。
2 有効性	8	③ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ④ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	
3 目標達成度	6	⑤ ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑥ ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1	
4 経済性効率性	8	⑦ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ⑧ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	
合計	29 ↓ 100点 換算	29 /32 91 /100 ランク A	